

くずまき 議会だより



No. 160

9月定例会

平成24年10月24日発行

ホームページ ▶ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>



23年度決算81億8,135万円

決算特別委員会

一般質問 ～2議員が町政を問う～

定例会・臨時会で決まったこと

第59回岩手郡町村議会議員大会

インタビュー 盛岡中央消防署葛巻分署長

2p

4p

6p

8p

9p

10p

笑顔のつどい



今月の表紙

なかよし広場
バス遠足 in
森のこだま館

支出総額 81億8,135万円

23年度決算を満場で認定



未来に向かって大きくジャンプ
(町陸上記録会中学校女子共通100mハードル・総合運動公園)

9月定例会は、6日から18日まで13日間の会期で開かれました。初日に、平成24年度各会計の補正予算や人事案件、23年度各会計の決算などが提案されました。補正予算などの審議は、輝くふるさと常任委員会に付託。一般会計と5つの特別会計の決算は、決算特別委員会を設置し、それぞれの委員会で審議を行い、18日の本会議で採決した結果、すべての議案は原案どおり可決されました。また、7日に行われた一般質問では柴田勇雄、山岸はる美両議員が登壇し、町職員の59歳退職勧奨の在り方や病院建築など諸課題について、町の考えをいただきました。

23年度一般会計は、支出総額59億816万円の前年度比8億6282万円の減少(12.7%)となりました。この大きな要因は、地域情報化推進事業が完了したことによるものです。また、5特別会計の支出総額は、22億7319万円の前年度比9104万円減少(3.9%)しました。平成23年度の収支決算は、下表のとおり一般会計と5特別会計すべて黒字決算です。

23年度会計別決算状況

会計名	収入	支出	収支差引額
一般会計	64億1,030万円	59億816万円	5億214万円
国民健康保険事業	11億1,020万円	10億7,715万円	3,305万円
簡易水道事業	1億8,430万円	1億7,712万円	718万円
農業集落排水事業	2億344万円	1億8,651万円	1,693万円
後期高齢者医療事業	6,953万円	6,568万円	385万円
国保病院事業	8億1,730万円	7億6,673万円	5,057万円
合計	87億9,507万円	81億8,135万円	6億1,372万円

監査委員の意見概要

各種財政指標は、財政力指数が横ばいですが、そのほかのすべての指数が好転しています。また、24年3月31日現在、基金(貯金)残高は、29億7376万円と前年度比で5億4802万円、22.6%増加しています。さらに、地方債(借入金)残高は、60億6258万円と前年度比で2億9072万円、4.6%減少するなど全般的に改善傾向にあります。

収入未済額は、すべての会計で減少していて、差し押さえ等を含めた滞納整理など、収納率の向上に向けた取り組みが功を奏したものと思われまます。しかしながら、自主財源が依然として乏しいことから、健全な行財政運営を望みます。特に滞納については、各会計とも減少こそしていますが、負担の公平を期すよう、引き続き努力が望まれます。

町長へ決算審査意見書を提出する監査委員



財政健全化判断比率は「健全」を維持

財政健全化法に基づき、23年度における一般会計や特別会計、第3セクター等の決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

○健全化判断比率

各指標	23年度	22年度	比較
実質赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率(25%)	11.1%	13.1%	△2.0%
将来負担比率(350%)	12.6%	18.1%	△5.5%

※各指標の()内の%は、早期健全化の基準で、数値が低いほど健全である。

○資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業、病院会計事業のいずれも資金不足は発生していません。

一般会計の支出を町民一人当たりになると(家計に例えると)

積立金9.4%
貯金 76,360円

負担金等24.8%
税金・年金・保険料等 201,461円

物件費12.0%
小遣い・交際費 97,481円

812,342円
平成24年3月末の人口 7,273人

建設事業費17.4%
衣類・家財・車等 141,347円

人件費15.2%
食費・光熱水費 123,476円

扶助費7.0%
医療費・学費 56,864円

公債費14.2%
住宅ローン等 115,353円

一般会計



U・イターン促進は
総務
企画

に居住した場合、くずまき商品券で10万円を支給。昨年度は、10組に支給しました。
併せて、住宅貸付事業も行っており、旧医師住宅の一部を1年間に限定し、新婚家庭に貸し付けるもので、現在2棟の利用があります。

大型事業で町財政は
総務
企画

国庫補助金と、地方交付税への算入率が高い過疎債を活用するほか、一般財源を確保するため、基金への積み立てをしつかりと行い、将来に大きな負担を残さないような財政運営を図りたいと考えています。

なたねの製品化等は
農林
環境

90㍓に作付けした「なたね」の収量と、今後の加工や製品化などの見通しは。
収量は750キログラムほどで、10㍓当たり83キログラムです。
加工は、秋田県小坂町の業者へ委託し、搾油率は30%程度で、製品にすると約230キログラムになると思います。720CCの瓶にすると約370本で、通常価格は1本1200円くらいと聞いています。

自殺ゼロへの対策は
健康
福祉

23年度の自殺に関する状況と対策は。
自殺者は4人で、うち施設入所者が1人です。要因は、病気と家族環境などです。
対策の一つ目は、うつスクリーニングで、検診時に〇×式のアンケート調査を行い、点数により陰性、陽性を判別し、ハイリスク者は、保健師が訪問指導を実施するものです。
二つ目は、保健委員協議会などの関係団体で構成する「こころの健康づくり連絡会」で情報収集や意見交換を実施。ほかに、自殺予防ボランティアグループ「みんなの話」による手作りポケットティッシュを配布し、自殺予防を呼び掛けるなどの活動を行っています。



早期整備が望まれる馬淵川河川堤防

くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業の内容と実績は。
町内酪農家の婦人が組織する「くずまき乳製品加工研究会」

乳製品の加工内容は
農林
環境

23年度の自殺に関する状況と対策は。
自殺者は4人で、うち施設入所者が1人です。要因は、病気と家族環境などです。
対策の一つ目は、うつスクリーニングで、検診時に〇×式のアンケート調査を行い、点数により陰性、陽性を判別し、ハイリスク者は、保健師が訪問指導を実施するものです。
二つ目は、保健委員協議会などの関係団体で構成する「こころの健康づくり連絡会」で情報収集や意見交換を実施。ほかに、自殺予防ボランティアグループ「みんなの話」による手作りポケットティッシュを配布し、自殺予防を呼び掛けるなどの活動を行っています。

特別会計



黒字決算の要因は
国保
事業

22年度から一転して、23年度に黒字決算となった要因は。
一つ目は、国による医療費の抑制がされたことにより、昨年度の医療費が6億4582万円、前年度比で5608万円減少(8%)しました。
二つ目として、一般会計と基金などから、1億5744万円の繰り入れを行ったことによるものです。

人材確保・育成策は
病院
事業

病院の新築に向け、実際に病院を運営する人材の確保・育成が必要と思うが。
特に医師の確保は、県の奨学制度などの整備により、26年度からは地域枠などで要請された市町村等へ配置する計画もあるように聞いています。
また、様々な機会をとらえ、研修を行う体制づくりが必要と考えています。



診察を待つ皆さんでいっぱいの葛巻病院待合室

賛成討論 (要約)

鈴木 満 議員

町では、東日本大震災の直後から被災地に支援を行うとともに、平成23年度は各分野で「安心して暮らせるまちづくり」を主眼に取り組んできたことと認識しています。

【一般会計】

歳入では、道路、農林、福祉、再生可能エネルギー関係など各種補助事業の積極的な活用や、貴重な自主財源である町税の徴収率が92.5%と前年度を0.3ポイント上回るなど、所要の収入が確保されています。

また、歳出では町民の安全・安心な暮らしの実現に向け、防災、子育て支援、定住・雇用対策など積極的かつ重点的に取り組んだほか、産業振興、教育振興、道路整備などの分野も着実に推進しています。

特に、防災対策では各地区センター25カ所に太陽光発電設備を設置。役場庁舎に大型発電機、地区公民館を含む37カ所に小型発電機を整備し、災害時の電源確保を図ったほか、原発事故の放射能対策として、放射線測定器3台を整備しました。

子育て支援では、5歳児の保育料無料化や小学生まで医療費助成を拡充、小児用肺炎球菌など予防接種の全額を町負担で行いました。

定住支援の新婚ライフサポート金や、商工分野では住宅リフォーム応援奨励金を「くずまき商品券」で助成するなど、建設業の活性化と町内消費の拡大に努めました。

教育振興では、葛巻高校郷土芸能部による葛巻神楽のドイツ講演も行われました。

このような新規事業のほか、昨年9月の台風15号による被害の早期復旧に努めたほか、各施策・事業が選択と集中により、重点的かつ効率的に執行されました。

【特別会計】

すべての特別会計において、所期の目的が概ね達成されているほか、新病院の建設に向け、安心して診療が受けられる医療体制づくりへの一層の取り組みに期待します。

以上のことから、各会計の決算の認定に賛成するものです。

反対討論 なし





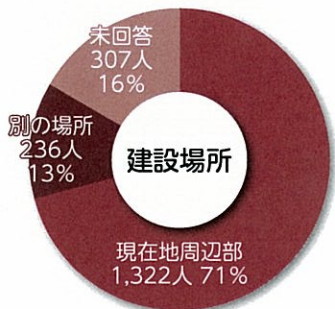
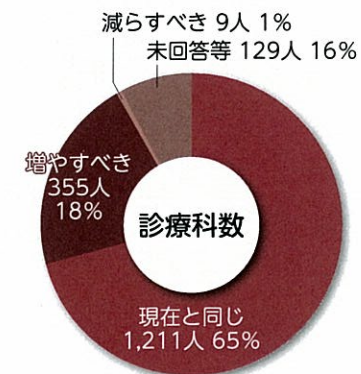
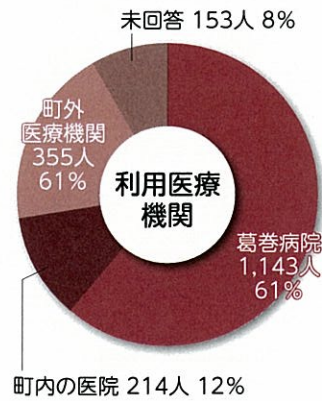
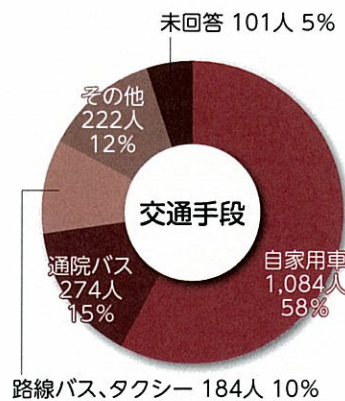
やまぎし み
山岸はる美 議員

問 新病院建設までの 取り組みについて

答 アンケートを反映、
検討委員会で対応

議員 現在の葛巻病院は、建築から40年が経過しました。老朽化が著しく、向こう半世紀に対応した病院の建設に当たり、住民の意向を大いに反映した病院づくりのためにアンケート調査を実施しましたが、その結果と対応は。

町長 本町では、町民や周辺地域住民の方々の生命と健康を守る公立病院として、地域医療サービスの提供に努めてきました。



昭和47年に整備され、築40年を迎え老朽化が著しいことから、建て替えを判断しました。

2856全世帯を対象にアンケート調査を行い、1865世帯が回答。回答率は65%で、内容は左のグラフのとおりです。

アンケート調査を通して200件を超える要望などがありました。新病院を建設するに当たり、庁内には副町長を委員長として関係各課長で構成する「病院建設プロジェクトチーム」を、

答 病床利用率は前年度下回る

23年度の外来患者数は、3万6459人、1日平均149人で、前年度との比較では18人の減となっています。

病床利用状況は、23年度の延べ入院患者数1万3594人、1日平均37人で病床利用率は48%となっています。前年度との比較では、1日平均15人の減、病床利用率は19ポイント下回っています。

問 入院ベッドの利用状況は

外来患者数と、入院ベッドの利用状況の推移は。

答 医療現場である葛巻病院内では、病院長を中心に院内での検討を進めています。

また、町内の医療機関や学識経験者、関係機関の職員などで構成する「葛巻病院整備検討委員会」を設置し、様々な要望を反映させるよう、それぞれ専門的な立場からの分析・検討を行い対応する考えです。

問 59歳職員への退職勧奨の是正と 65歳定年制への考えは

答 国の動向見ながら総合的に判断、
無年金期間が生じない対応策

議員 町職員の退職は、59歳に町が一齐に退職勧奨を行い、60歳定年より1年早く辞めていく実態にあります。60歳に達していないため、無年金・無収入の期間が発生します。

さらに、年金開始年齢が25年度から、段階的に60歳から65歳へと引き上げられ、無年金・無収入の期間が拡大されます。

59歳での一斉退職勧奨を早期に是正するとともに、65歳定年制への移行を検討すべきです。

町長 59歳に達する職員への退職勧奨の書面交付は、16年度から実施しています。当時、国の三位一体改革による地方交付税の減額や市町村合併での「当面自立」などの考えから導入。この8年間で48人に勧奨し、47人が退職し、24年度の対象者は13人です。

59歳の職員の退職勧奨は、今後、「国家公務員の雇用と年金の接続に関する基本方針」など、国の動向を見ながら、総合的に判断し運用する考えです。

職員の雇用と年金の接続は、人事管理上重要な課題と認識しています。無年金・無収入の期

間を生じさせないとの観点からその対応策を講じます。

問 生ごみの出し方の周知方法と対応策

ごみの分け方・出し方が、10月から変更され、細分化されます。従来の燃えるごみを、「生ごみ」と「プラスチック製」「紙製」の容器包装、「その他の紙類」に分別し、決められた日に出す内容となっています。

さらに、田子から四日市までは、「生ごみ」だけの回収も行われます。特に集積所への出し方で、最初は周知不足や戸惑いから現場対応が大変と思われるますが、その対応策は。



各地区で行われた「ごみ」の分け方・出し方説明会（象鼻会館）

答 くずまきテレビと集積所での指導を

各家庭の生ごみ処理は、バケツ等に入れて集積所に運び、収集日の朝8時30分までに回収容器に入れると、9時30分までに回収・運搬します。回収容器はプラスチック製ふた付きで、鳥や虫、夏場の臭いなど衛生面にも配慮したものです。周知は9月15日から「くずまきテレビ」で特別番組として放映されます。また、各集積所での指導も行うなど、周知徹底を図ります。

問 破損した木製遊具
早急な更新が必要

運動公園子ども広場の遊具が更新・整備されておらず、いまだに破損遊具が見受けられるが。

答 本町特産の集成材活用した遊具設置

老朽化した遊具は、定期的な点検、撤去や修繕を行っています。

今後は、本町特産の集成材を活用した丸太ベンチなどを設置するようにします。





宣言を行う中崎議長（右側）と議長団を務める鈴木委員長（中央）

要望8項目を満場で承認

第59回岩手郡町村議会議員大会は7月27日、雫石町中央公民館（野菊ホール）で開催され、県議会議員や郡内の町村長、議会議員など約80人が参加しました。
大会では、鈴木満輝くふるさと常任委員長が議長団を務め、中崎和久議長が「我々の責務はますます重要となっております、相互協調のもとに課題の実現を図り、あらゆる困難を克服して明るい郷土の建設に一層努力することを誓う」と宣言しました。続いて、道路整備など8項目



提案説明する山岸議員

の要望事項を、各町村の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山岸議員が「県立高等学校の存続」と東京電力福島第一原子力発電所事故への対応などを含めた「農業振興対策の推進」について説明を行いました。
満場一致で承認された要望8項目は、郡町村議会議長会が後日改めて、国や県に対して要望活動を行いました。

謹んでご冥福をお祈りします

9月定例会の初日、全員で黙とうを捧げた後、鈴木満輝くふるさと常任委員長が追悼演説を行いました。謹んでご冥福をお祈りします。



故橋場 清廣議員

去る8月24日、橋場清廣議員（58歳）が急逝されました。橋場議員は、平成8年1月から16年7カ月にわたる議員活動のほか、町の交通指導員も務めるなど、幅広く活躍されました。

9月定例会

変更請負契約

●葛巻小学校屋内プール整備工事（変更後）

◇契約金額	
変更前	1億5,330万円
変更後	1億5,497万円
◇工事期限	
変更前	24年8月3日
変更後	24年11月3日



過疎計画変更

平成22年度から27年度までを実施期間とする「葛巻町過疎地域自立促進計画」に、概算事業費41億1,577万円（変更前計画比66.9%増）を追加し、概算総事業費を102億7,067万円とするものです。

主な追加事業の概算事業費は、次のとおりです。

【過疎計画への主な追加事業】

- 地域情報通信基盤施設拡大整備事業(屋外告知ほか) 3億6,582万円
- バス路線運行拡大支援対策費補助金 1,800万円
- 養護老人ホーム整備事業 5億2,000万円
- 葛巻病院新築事業 22億8,800万円
- 公共施設等省エネ・グリーン化推進事業(太陽光発電設備ほか) 11億445万円

臨時会で決まったこと

人事案件

●農業委員会委員（議会推薦・全員新任） 任期：24年8月20日～27年8月19日



橋 秀子さん（江刈馬淵） 上野 明子さん（古川戸） 瀧渡スズ子さん（吉ヶ沢）

●固定資産評価審査委員会委員（再任）

任期：24年10月1日～27年9月30日
◇漆眞下 孝 幸さん（大 沢）

●選挙管理委員会委員（全員再任）

任期：24年8月22日～28年8月21日
◇下屋敷 利 美さん（浦子内）
◇近 藤 とし子さん（下 町）
◇柳 澤 和 夫さん（上田野）
◇村 中 千鶴子さん（山 岸）

●教育委員会委員（再任）

任期：24年10月1日～28年9月30日
◇土 谷 美保子さん（元 木）
◇村 木 佳 子さん（五日市）

24年度補正予算

一般会計に、7月臨時会で5,000万円、9月定例会で7億7,024万円を追加し、総額を59億8,073万円としました。

また、9月定例会で国保病院事業会計を除く4特別会計に、総額5,901万円を追加し、5特別会計の総額を24億5,886万円としました。

主な一般会計の支出は、次のとおりです。

【7月臨時会】

- 粗飼料生産基盤除染対策事業（町単独） 5,000万円
 - ・対象：町内の畜産農家
 - ・内容：①反転などを伴う牧草地の更新
②牧草地からデントコーン畑への作付転換
 - ・助成：①牧草地の除染作業費用 1割当たり18万円
②除草剤、土壌改良材、種子等 実費の1/2
(上限は1割当たり7万円)

【9月定例会】

- 公共施設再生可能エネルギー等導入事業 8,085万円
 - ・グリーンテージに太陽光発電設備と蓄電池を整備
- 地域づくり振興基金積立金 1億円
- 公共土木施設災害復旧事業費 4億5,000万円
 - ・凍結による町道のひび割れの復旧工事（町内26カ所）

要望の審査結果

継続審査

- 星野地区用水路及び付帯施設の修繕について
星野地区用水路利用者5名から出された要望は、継続して調査することとしました。

採 択

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について
全国森林環境税創設促進議員連盟から提出された要望は、内閣総理大臣ほか衆参両院議長などに、意見書を提出しました。

INTERVIEW

インタビュー

Q 自PARをどうぞ。
盛岡西消防署から、昨年4月に、葛巻分署へ異動してまいりました。八幡平市松尾の自宅から、約1時間掛けて通勤しています。
家族は、母と妻、息子と4人暮らして、娘は独立して盛岡市にいます。
夏はOB野球と、あまり上達しません。10年前に始めたゴルフを楽しんでいます。冬は、昨シーズンから18年振りに復活したスキーです。一応は1級の資格を持っていて、安比高原スキー場のスクールで、子どもたちに教えたりもしています。

Q 消防署の役割は。
皆さんの「財産」を守る火災対応のほか、「生命」を守る救急の対応も重要な役割です。救急の出動件数は年々、増加する傾向にあります。
救急車は、県立病院等への搬送があると、約3時間は戻れませんが、今年春から「ドクターヘリ」の運行が始まり、搬送等も少しスムーズになりました。
Q 町民へのメッセージを。
安全・安心な町づくりのために、地域の皆さんや消防団の方々と一緒になって、頑張りたいと思います。

盛岡中央消防署 葛巻分署長

たかはし こういち
高橋 功一 さん (53歳)



住民と一緒に安全・安心な町づくりを

Q 葛巻町民の印象は。

地元の消防団と関わる中で、葛巻町はとても、まとまりがあると感じます。昨年は、火災件数ゼロでしたが、今年はずでに3件が発生。分署員だけでは対応できませんので、地元消防団の方々に助けられています。

中崎議長が総務大臣表彰

中崎和久議長は10月5日、総務大臣表彰を受賞しました。東京都の全国町村会館で開催された表彰式では、中崎議長が、全国町村議会の受賞者を代表して受賞するとともに、代表謝辞を述べました。
この賞は、町議会議長として12年以上にわたり、議会運営はもとより、地域の振興・発展に尽くした功績が認められたものです。



中崎議長
榎床総務大臣から表彰される

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	27,000円	(盛岡北部畜産共進会ほか)
8月	50,000円	(くずまき夏まつりほか)
9月	14,000円	(高砂荘敬老会ほか)

編集後記
連日30度を超す暑さが9月中旬まで続き、人、牛、農作物まで、耐え忍び毎日でしたが、朝夕肌寒く、近づく冬を感じさせられる今日この頃です。
故橋場清廣議員に替わり、広報発行常任委員長を務めることになりました。
議会は、くずまきテレビで視聴できませんが、前委員長の志を引き継ぎ、見やすい紙面づくりに、委員会一同で励んでいこうと思います。
山岸 はる美
広報発行常任委員長

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすくように配慮して制作しております。一部当たり約42円で作成されています。

印刷：川口印刷工業株式会社 〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2

